

悲しい知らせ、お二方



井藤盛治さんが
2月11日に亡く
なられた。維持管
理部会で桜の植樹

作業中だった。「フウ」と息をつかれ、そのまま倒れられた。足でも滑らせ、笑いながら立たれるのかなど皆思っていたが、そのまま身動きされず、異変に気付いた仲間がすぐに救急車を呼んだり、蘇生処置を試みたが、病院搬送後死亡が確認された。持病が御有りだったようです。井藤さんは「さくら友の会」の維持管理部会の当初からのメンバーでした。特に管理の部分では、全体の中でも一番荒れた「もみじ谷」ブロックの責任者で、現地調査のため何度も足を運ばれていた。そうして他のブロックの手本になるような現地地図を作成された。また、暇を見つけては、奥様と深坂を散策され「もみじ谷」にも行かれ、一本一本の植樹者の名前と場所を暗記されていたようです。深坂を愛し、桜を愛し、思いやりのある方でした。倒れられた場所からほんの5メートル位の所に、「井藤盛治」さんご自身の桜の木があり、皆その奇遇に何かしら心を打たれていました。
(江原寛治)



庄子好光さんが
3月3日亡くな
られた。家で、突
然ふらつと、一緒

に仕事をされていたご子息にもたれかかってなくなられたとの事。心臓に持病があった由。電気関係の器

具や工事の仕事をされていたので、さくら友の会は工具類を、よくお店に注文していた。庄子さんは無償で工具を研いだり、手入れして下さった。さくらえのときには、何時も自家発電機と軽トラックを無償で提供いただいていた。響灘ライオンズクラブのメンバーでもあったので、その関係の友人は多いが、その他のメンバーにも別け隔てなく接して居られて、誰の胸にも穏やかで温かな明るい思い出を残して行かれたと思う。

「ねがわくば花のもとにて春死なんこのきさらぎの望月の頃(西行法師)」やがて誰もが辿る道ならば、この季節にこのようにという羨ましいお二人の最期だった。急に身近な人たちを失うと、死が急に近くなったように感じた。ふと、吉田松陰の言葉が思い浮かんだ。「17、18の死が惜しければ、30の死も惜しい。80、90、100になってもこれで足りたということはない。半年と云う虫たちの命が短いとは思われないし、松や柏のように数百年の命が長いとも思わない。天地の悠久に比べれば、松柏も一時蠅なり。」また、松陰はこんなことも言っている。「悔いるよりも、今日直ちに決意して、仕事を始め技術をためすべきである。何も着手に年齢の早い晩い問題はならない。」良い言葉ではないか。何時倒れても良い、マイペースで楽しく歩もうと思う。
(野口周二)

ボランティア体験と
取材の申込み

下関市立名陵中学校よりボランティア活動の取材・体験について、次のような内容の手紙が届いた。

名陵中学校三年生では、総合的な学習の時間に「地域に還元できるボランティア体験」をテーマに学習を進めています。その一環として、ボランティア活動に取り組んでいる方々を取材すること、ボランティアの意義を理解し、ボランティア精神を高める契機にしたいと考えています。

- ・ ボランティア活動の意義を知る。
- ・ ボランティアに関わる人たちの苦労と喜びを知る。
- ・ 地域の人たちと交流を深め、地域を愛し、地域をよくしていくこうとする気持ちを高める。



「ボランティア体験」感想

市立名陵中学校三年 吉田慎吾
先日は「NPO法人下関深坂さくら友の会」について取材させていただき、ありがとうございました。取材を行う中で、刈った草を木の周りに置いて、肥料とするということがよく分かりました。特に印象に残ったこ

とは、いままでにたくさんの人が桜を植えてきたことです。深坂の桜の景色は、たくさんの人によって作られたんだと思いました。今後はこの取材で学んだ貴重なことをまとめて学年で発表すると共に、二学期に自分たちで行う地域のボランティア活動に生かして行きたいと考えています。末筆ながらNPO法人下関深坂さくら友の会の皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。

「ボランティア体験」感想

市立名陵中学校三年 泉 亮祐
先日は「NPO法人下関深坂さくら友の会」について取材させていただき、ありがとうございました。特

取材を行う中で、深坂の森公園をきれいにし遊びに来る人々が気持ちよく遊べるようにしたいといけないうことや、自然をもっと大切にしたいということにしたいと思いました。今後は、この取材で学んだ貴重なことをまとめて学年で発表すると共に、二学期に自分たちで行う地域のボランティア活動に生かしていきたいと考えています。

「ボランティア体験」感想

市立名陵中学校三年 柴富裕
8月11日はボランティア体験、取材をさせていただきました。ボランティアでは自然を大切にすることを学びました。また、切った草は捨てるのではなく、桜の木のそばに置き、肥料にするということや、花の名前、虫の名前といった細かいことまで教えていただき、ありがとうございました。特に印象に残ったことは和泉ロードを開拓していたことで、道はきれいにできており、階段もあつて出きばえの素晴らしいことに驚きました。

また、下関深坂さくら友の会の皆様のボランティアに対する熱い気持ちを学ぶことができました。今後は、この取材で学んだ貴重なことをまとめて学年で発表すると共に、二学期に自分たちで行う地域のボランティア活動に生かしていきたいと考えています。



(もみじ谷)が特別熱心に
ロードさんが管理
和泉は管理

名陵中学校のみんなあ
りがどう。さくら友の会